

## 殺人被害者数に見る中南米諸国の治安状況

出典) UNDOC, *Global Study on Homicide 2011*

	国名	殺人被害者数／人口10万人 (2010)	銃器による殺人比率 (2010)	首都 (主要都市)	首都における殺人被害者数／人口10万人
中南米	ホンジュラス	82.1	83.4%	テグシガルパ	72.7 (2009)
	エルサルバドル	66.0		サンサルバドル	94.6 (2009)
	ジャマイカ	52.1	75.6%	キングストン	20.2
	ベネズエラ	49.0 (2009)	79.5% (2009)	カラカス	122.0 (2009)
	ベリーズ	41.7	52.3%	(ベリーズシティ)	106.4
	グアテマラ	41.4	84.0%	グアテマラシティ	116.6
	セントクリストファー・ネイビス	38.2	85.0%	バセテール	47.4
	トリニダード・トバゴ	35.2	72.1% (2009)	ポートオブスペイン	47.0 (2009)
	コロンビア	33.4	81.1%	ボゴタ	17.1
	バハマ	28.0		ナッソー	28.5 (2009)
	セントルシア	25.2			
	ドミニカ (共)	24.9	65.5%		
	ブラジル	22.7 (2009)		(サンパウロ)	10.8 (2009)
	ドミニカ国	22.1			
	セントビンセント及びグレナダ ー諸島	22.0			
	パナマ	21.6	75.0%	パナマシティ	34.6 (2009)
	ガイアナ	18.4			
	エクアドル	18.2			
	メキシコ	18.1	54.9%	メキシコシティ	8.4 (2009)
	ニカラグア	13.2	42.1% (2009)		
パラグアイ	11.5	56.1% (2009)			
グレナダ	11.5				
コスタリカ	11.3				
バルバドス	11.3				
ボリビア	8.9				
ハイチ	6.9		ポルト・フランス	40.1	
アンティグア・バブダ	6.8				
ウルグアイ	6.1				
アルゼンチン	5.5 (2009)				
ペルー	5.2 (2009)	50.8% (2009)			
スリナム	4.6 (2009)				

	キューバ	4.6 (2008)			
	チリ	3.7 (2009)			
(比較用)	日本	0.4 (2009)	1.8%(2008)	東京	0.4 (2009)
	米国	4.6 (2009)	60.0%(2009)	(ニューヨーク)	5.6 (2009)
	南アフリカ (アフリカ最悪)	33.8 (2009)	45.0%(2007)	(ケープタウン)	59.9 (2007)
	パキスタン (アジア最悪)	7.3 (2009)			
	ロシア (東欧ロシア最悪)	11.2 (2009)		モスクワ	4.6 (2009)
	リトアニア (北欧最悪)	7.5 (2009)	2.5%(2009)	ビルニユス	5.4 (2009)
	モンテネグロ (南欧最悪)	3.5 (2009)		ポドゴリカ	3.5 (2008)
	ベルギー (西欧最悪)	1.7 (2009)		ブラッセル	3.0 (2009)
	パプアニューギニア (オセアニア最悪)	13.0 (2008)			

注) 空白部分は出典にデータが存在しないか、存在してもかなり以前の数値であるので割愛。

(オブザーベーション)

1. 全体的に見て中南米諸国は世界の他地域と比較しても、かなり治安の悪いことが分かる。
2. あまり注目されないが、一部の英語圏カリブ諸国の治安の悪さが目立つ(特に、ベリーズ)。但し、東カリブの島嶼国は人口が10万人に満たない国もあるため、実際にこの数の被害者が出ているわけではない(数値はあくまで10万人当たりに換算した数値)。
3. 一般に言われているとおり、中米の治安の悪さが際立っている(除、ニカラグア、コスタリカ)。ホンジュラスは1999~2007年に32人~56人を推移していたが、2008年以降毎年10人程度ずつ増加している。エルサルバドルは1990年代末に100人を超えていた時期があり、その後2002年には47.3人まで改善したが、再び増加に転じている。グアテマラは2004年まで30人台であったが、2005年から増加し始めた。
4. 一般的に全国平均より首都の治安が悪いことは想定できるが、それにしてもベネズエラ、グアテマラ及びベリーズは首都の治安が飛びぬけて悪い(ベリーズシティは首都ではないものの同国最大の都市)。逆にジャマイカの数値は首都よりも地方の特定都市の治安の悪さを推定させる。
5. かつて「成人男性の死因の第1位は殺人」と言われたコロンビアは今も決して治安が良いわけではないが、1995年~2002年頃まで10万人当たり60人~70人の被害者が出ていたことと比較すれば、かなり改善していることが確認できる(2003年以降毎年減少傾向にある)。
6. いわゆる「麻薬戦争」でメキシコの麻薬絡みの大量殺人事件がマスコミに報じられるが、統計上はメキシコが中南米でさほど高いわけではない。

(詳細は下記の末尾「Statistical Annex」を参照)

[http://www.unodc.org/documents/data-and-analysis/statistics/Homicide/Globa\\_study\\_on\\_homicide\\_2011\\_web.pdf](http://www.unodc.org/documents/data-and-analysis/statistics/Homicide/Globa_study_on_homicide_2011_web.pdf)